資料３

第５期加古川市地域福祉計画の骨子案について

１　基本理念

第４期計画では、第３期計画から引き継いだ「地域包括ケアシステム」の考え方を深化させ、地域住民が身近な課題を「我が事」として捉え、行政や関係機関、地域住民が「丸ごと」つながりながら課題を解決する「誰一人取り残さない地域共生社会」の実現に向けて取組を進めてきました。

第５期計画では、人口減少や価値観の多様化等により地域課題が複雑化する中、これまでの取組を継承しながら、多様な主体がそれぞれの役割や強みを生かし、分野を超えて地域づくりに関わる「共創」の考え方を踏まえながら、「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域共生社会」の実現に向けて、次の基本理念を掲げ、施策を展開します。

未来につながる　支えあいのまち　加古川
～いま一度　みんなでつなぎ育てる　地域(まち)づくり～

２　基本的な視点

基本理念の実現をめざし、３つの基本的な視点を踏まえながら、住民が自ら行うこと（自助）、地域での見守りや支えあい（互助）、社会保険制度による支えあい（共助）、公的な福祉サービス（公助）がそれぞれの役割を果たすとともに、多様な主体が連携・協働しながら、地域全体で支え合う地域福祉の推進に取り組みます。

１　地域における顔の見える関係づくり

地域で安心して暮らし続けるためには、互いを理解し、支え合える関係づくりが重要です。これまで培われてきた地域のつながりを大切にしながら、世代や立場を超えた多様な人や主体が、それぞれの生活スタイルや関心に応じて無理なく地域と関わることのできる仕組みづくりを進めます。

２　多様な主体の参画と協働による地域福祉活動の推進

地域においては、市民、ボランティア、地域団体、福祉・医療関係者、民間事業者、学校、行政、社会福祉協議会など、地域福祉に関わる多様な主体がそれぞれの強みや役割を生かして地域づくりに関わることが重要です。地域課題や目指す地域の姿を共有し、互いに連携・協力しながら、新たな支え合いの仕組みづくりを進めます。

３　誰もが地域の一員として暮らせる地域づくり

誰もが地域の一員として、役割や居場所、つながりを持ちながら、自分らしく暮らし続けることができる地域づくりが求められています。多様な主体がつながり、支える側・支えられる側に分かれることなく、共に地域を創る取組を進めます。

３　基本目標

基本理念の実現を目指し、３つの基本目標を定め、施策を展開します。

１　地域福祉をともにつくる人・つながりづくり

地域福祉をともにつくる人材の発掘や育成を図るため、各種講座を実施するとともに、複雑・複合化している地域課題に対応できる専門的な知識や対応力を有する人材の育成に引き続き努めていきます。併せて、従来の地域活動の担い手だけでなく、年齢や立場にかかわらず、誰もが地域と関わり、それぞれの力を発揮できる仕組みを構築していきます。

また、地域福祉への理解を深める機会の充実や、参加しやすい活動の場づくりを進めるとともに、地域活動団体、ボランティア、企業、学校など多様な主体がつながり、関心や経験を生かして地域づくりに参画できる環境や、活動したい人と地域の課題をつなぐ仕組みを整えていきます。

２　多様な主体がつながる地域課題解決の仕組みづくり

生活支援コーディネーターによる地域資源の把握や地域課題の分析を進めるとともに、ささえあい協議会等を通じて、地域住民、ＮＰＯ、ボランティア、民生委員・児童委員、関係機関等の多様な主体をつなぎ、地域資源を生かした支え合い活動や課題解決に向けた取組の創出を進めます。

また、地域共生社会の実現に向け、地域包括ケアシステムの考え方を深化させ、本人の意思や希望を尊重した支援を進めるとともに、医療・介護・福祉等の関係機関や地域の多様な主体が連携し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域の支え合いの仕組みづくりを推進します。

さらに、孤独・孤立を感じている人、生活困窮者、身寄りのない高齢者等への支援、障がい者や認知症の人と、その家族への支援など、複雑化・多様化する生活課題に対応するため、保健、医療、防災、消費生活など様々な生活関連分野との連携を強化し、地域全体で課題に対応できる仕組みづくりを進めます。

３　安心して自分らしく暮らせる包括的な支援体制づくり

高齢者、障がい者、こども、生活困窮者、犯罪から立ち直ろうとする人、外国人など、誰もが必要な支援につながり、地域で安心して生活できるよう、情報提供体制や包括的な相談支援体制の充実を図ります。また、複雑化・複合化する生活課題に対応するため、関係機関や地域の多様な主体が連携し、属性や制度の枠を超えた横断的な支援体制の整備を進めるとともに、成年後見制度の利用促進や虐待防止の取組を推進し、一人一人の権利や意思が尊重され、自分らしく暮らせる環境づくりを進めます。

4　施策の体系

基本理念

未来につながる　支えあいのまち　加古川

～いま一度　みんなでつなぎ育てる　地域（まち）づくり～

基本的な視点　自助・互助・共助・公助の連携による共創の地域づくり

1　地域における顔の見える関係づくり

2　多様な主体の参画と協働による地域福祉活動の推進

3　誰もが地域の一員として暮らせる地域づくり

基本目標　地域共生社会の実現に向けた施策の推進

1　地域福祉をともにつくる人・つながりづくり

- (１)人材の発掘と育成
- (２)つながる場の創設
- (３)活動の支援
- (４)参加意識の醸成

2　多様な主体がつながる地域課題解決の仕組みづくり

- (１) 地域課題の共有と解決に向けた取組の推進
- (２) 多様な主体による支え合いの仕組みづくり
- (３)多分野連携による地域課題解決の仕組みづくり

3　安心して自分らしく暮らせる包括的な支援体制づくり

- (１)情報提供体制の充実
- (２)相談支援体制の充実
- (３)権利擁護の推進
- (４)地域生活を支える支援体制の充実